



西山の空

令和5年2月24日発行 第11号

柏崎市立西山中学校

<https://www.kenet.ed.jp/nishijhs/>

TEL 48-2150 FAX 48-2252

より良い学校教育を通じて、より良い社会を創る

校長 須藤 泰司

逃げる二月が、足早に過ぎていきます。朝の訪れも早まり、自然と目ざめも早くなっています。待ち焦がれた春は、もうそこまで来ているようです。そして、3年生たちとの別れ、彼らの旅立ちの日も、もう間近です。

職業観をもって未来への予測を立てながら、今学ぶ、「キャリア教育」を学校全体で進めています。先日、1年生の3回目のキャリア講演会を実施しました。今回は、(株)テック長沢・代表の長澤さんと、(株)越後みそ西専務の朽堀さんに講師を務めていただきました。長澤さんは、石油から始まる柏崎の産業の歴史と、金属機械工業についてお話をいただきました。テック長沢社の作る部品は、トヨタ自動車やホンダ、日産自動車を支えているそうです。

長澤さんが経営上大切にしていること、社員に求めていることとして、「挑戦する姿勢」をあげました。「失敗をしないということは、発展がない。つまり、会社としても成長がないんです。だから、当社では『失敗、ありがとう!』と言っています」と話されました。また、「仲間を大切にする人、挨拶を大切にする人、相手の気持ちを理解する人」を求めていると話されました。「製品を作る。それは一人ではできないんです。仲間と協力していかなければならないし、相手の会社とも協力する必要がある。挨拶をするというのはそのための基本。そして、相手の気持ちを考えられることで、チームとして仕事ができるんです」と。このことは、学校教育で求めていることと同じと、共感しました。「より良い学校教育を通じてより良い社会を創る」という私たちが大切にしている理念とつながっていることを嬉しく思いました。「なぜ働くのか?」ということに対して、長澤さんは「自分自身ががんばることでやりがいを感じ、自分が幸せになること、そして、製品を通していろんな人が幸せになること、この二つが大切です。自分たちが製品を作る、それが売れるということは、お客様から『感謝』をいただいていること。だからこそ、さらに良い製品を作りたいんです」と話されたことに、生徒たちはもちろん、私たち教職員の心も動かされました。

朽堀さんは、まずは「みそ西」の味噌を味わってもらおうと、何と調理室で味噌汁を作って振る舞ってくださいました。「木桶を使い、昔ながらの製法を大切にして(江戸時代から続く)この味を守っています。そのため、機械生産のように大量に作ることができないことや最近の食生活の変化で(パン食など)みそ汁を飲まなくなってきたことなどから、売り上げを伸ばすのはなかなか難しい。しかし、地元柏崎の味を守っていくために、頑張っている。皆さんにも、この味を知って欲しいんです。」と、話されました。味噌をおにぎりに塗って焼きおにぎりにしたり、みそとマヨネーズを混ぜて野菜を丸かじりしたりすると、味噌の優しい味が染みてくると聞き、お土産の三階節味噌で試してみたいと、生徒たちも目を輝かせていました。地元酪農企業の思わぬ倒産がありましたが、失ってしまってからその大切な価値に気付かされます。大切なものはみんなで守っていく、そんな思いにもられました。

コロナ禍がもたらした負の面は、このような「本物体験」を学校から遠ざけたことです。本物と出会うこと。本物の体験をさせること。これこそが人の心を動かし、人を成長させる。そして、学校は学ぶところだ、その学びは社会にしっかりとつながっているんだと、子供たちに実感させ、その学びを本物にしていくことこそ、日本の未来を築き上げていくことなんだと、私たち自身が学び直しをさせていただきました。長澤様、朽堀様、本当にありがとうございました。



学校評価(学校生活アンケート)の結果より

12月に保護者の皆様より御協力いただきました「学校生活アンケート」の結果を紹介します。数値は肯定的評価の割合(%)です。矢印は、7月比で顕著なもの(5%以上の変化があったもの)です。

アンケートへの御協力、ありがとうございました。

	評価項目	生徒	保護者
1	学校へ行くのを楽しみにしている。	88.5	89.1
2	充実感・満足感をもって学校生活を送っている。	95.5	89.0
3	自分の生き方(毎日の生活や卒業後の自分の姿)について、真剣に考えている。	69.7↓	70.5↑
4	授業に意欲的に取り組み、考えを深めようとしている。	87.6↑	76.7↑
5	計画的に家庭学習を行っている。(週に500分程度)	51.7	61.8↑
6	中学生らしいさわやかなあいさつが身に付いている。	91.0	85.6
7	やるべきことに対して、粘り強く最後まで取り組んでいる。	80.9	80.9
8	いじめの定義を理解し、自分の行動に責任をもって過ごしている。	94.4	96.5
9	相手の立場や気持ちを感じとり、思いやりの心をもって行動している。	96.6	96.6
10	生徒会活動や行事で、他の生徒と協力しながら積極的に取り組んでいる。	95.5	84.9↓
11	部活動(社会体育の活動)に意欲的に取り組んでいる。	89.8↓	93.1
12	体力や気力の向上に挑戦し、心身を鍛えようとしている。	86.4	78.3↓
13	早寝・早起き・朝ごはんを意識し、より良い生活習慣の定着に努めている。	75.3	68.5↓
14	メディア利用のルールを守り、メディアとの望ましいいかわり方が身に付いている。	74.2	60.9↑
15	危険から自分の身を守るため、注意を払って行動し、いざというときには自ら危険から逃れることができる。	90.9	88.2
16	先生は、生徒一人一人を大切に、時には温かく時には厳しく指導している。	98.9	98.9
17	学校・学年たよりやHP等を通して、教育活動の方針や学校での子どもの様子が家庭に伝わっている。		98.9

- 「学校へ行くのを楽しみにしている」「充実感・満足感をもって学校生活を送っている」に対する回答の肯定的評価は、生徒、保護者共に9割前後です。多くの生徒たちは1年を通して充実した学校生活を送ることができたと捉えています。しかし、全員ではないことをしっかりと受け止め、100%を目指して取り組んでいきます。
- 「授業に意欲的に取り組み、考えを深めようとしている」に対する回答のポイントが7月に比べて向上しています。iPadを効果的に活用できたことが、生徒が意欲的に取り組めたひとつの要因と考えます。今後も、より主体的に学習に取り組めるよう、授業での学びを家庭学習の課題(宿題)につなげるなどの取組を充実させていきます。
- メディア利用に関しては、保護者の数値が伸びています。これは、9月にPTA健康安全部が学校保健委員会とタイアップして、「家庭内でのメディア利用を見直そう」と呼びかけた結果と考えられます。今後も、御家庭での指導・管理をよろしくお願いいたします。

【学校への要望（一部抜粋）】

○日頃の熱心なご指導、ありがとうございます。

○何かあったときに早急に対応してくださるので、感謝しています。

- 宿題があったほうが、モチベーションが上がると思います。プリント1枚でいいので、国語、数学、英語は課題を出していただければ嬉しいなと思います。宿題で基礎を少しでも固められれば、授業をもっとよく理解できるのではと思います。

⇒ 各教科のワークが、それにあたります。例えば、授業でその日に学習したところを、その日のうちにワークを解くなどが、家庭学習のひとつと指導しております。「宿題」と言われなくても、自分の学力の定着のために、「自分で課題を決める」ことも、大切にしていきたいと考えています。自分で課題を設定し、家庭学習を進めている生徒もいます。一律に宿題を課すことは、自主性のある生徒への過重負担にもなります。まず、ワークをお子さんに勧めてください。「終わってしまってやることがない」という場合にはお声かけください。個別に対応させていただきます。

- 不登校傾向の生徒が増えてきていると聞き、心配しています。おそらくどの子も原因ははっきりしていないと思いますが、日々の積み重ねだと思えます。この現状をしっかりと受け止め、生徒一人一人によく考えてほしいです。仲間の気持ちを思いやることのできるクラスに少しでも成長してくれるよう、願っています。

⇒ 保護者の皆様にはご心配をおかけしております。思春期を迎えた今、様々な悩みや強い不安を抱く生徒も少なくありません。これからも、生徒一人一人に寄り添い励ましながら、安心できる居心地の良い学校、学級づくりを進めてまいります。

具体的には、今年度から講演会や人権教育を核とした「にしやま心プロジェクト」、「SOS の出し方講座（プログラム）」、毎月の生活アンケート、教育相談、生徒指導部会での情報共有、外部機関との連携など、あらゆる角度から心のよりどころとなる機会の充実を図っています。また、日常における生活習慣の定着、特別活動（学級活動や生徒会活動）の充実など集団性、社会性の育成にも力を入れています。今後も“つながり”を視点に、自治の力を育む活動を進めてまいります。

友達や教職員、保護者に対して、悩みを打ち明けられる生徒もいれば、そうでない生徒もいます。また普段見せる表情とは異なる悩みを抱えるケースも少なくありません。何か心配なことがあった場合は、どんな些細なことでも構いませんので、いつでも学校までお知らせください。保護者の皆様と共に、生徒一人一人を大切に見守りながら、適切な支援を続けてまいります。

- バスの運行を年間にしてほしい。

⇒市への要望を続けていきます。

「良さを見つけ、良さを伸ばす」を生徒を見る視点とし、生徒に自信をもたせ、自尊感情を高めていくことをねらい、教育活動に取り組んできました。その中で、お互いの良さを尊重し合い、仲間との関わり合いを大切にしながら学校生活を送る姿が多く見られたこの1年間でした。

皆様からいただいた御意見を真摯に受け止め、今後の教育活動の改善に向け取り組んでまいります。



西山中学校へおいで事業

1月20日（金）「西山中学校へおいで事業」が行われました。二田小と内郷小の6年生が、授業体験したり、部活動紹介を見たりすることで、中学校のイメージをふくらませ、中学校生活への期待を高めてほしいというねらいがあります。

授業体験は理科と数学にわかれての参加です。理科は、白い粉末の正体をさぐる実験。数学は、与えられた条件の中で問題解決。いずれも、これまで学習した内容を活用しながら、思考をめぐらせ課題を解決していく授業でした。

部活動紹介では、中学1，2年生が、部活動の様子を画像や実演で丁寧に説明しました。

6年生の皆さんが、立派に小学校での卒業式をやり遂げ4月には、はつらつとした気持ちで入学してくることを願っております。

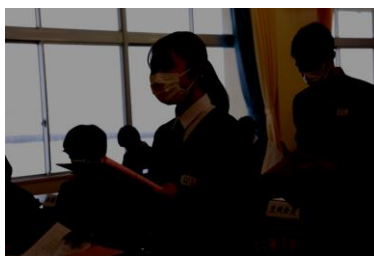


生徒総会 ～生徒会活動の1年間の振り返り～

2月2日（木）には、第2回生徒総会が行われました。

この1年間、生徒会を中心に、生徒が主体となって様々な活動が展開されてきました。活動を振り返り、成果と課題について意見交換し、来年度の方向性を全校生徒で確認することができました。

その後は、新旧役員の引継ぎ式。3年生のリーダー達から1，2年生へのバトンタッチです。新しいリーダー達は緊張した中にも、ひきしまった表情で3年生からのバトンを受け取っていました。西山中学校生徒会の更なる前進を期待したいと思います。



3月の予定 ※今後の状況によって、変更する可能性があります

日	曜	予 定	日	曜	予 定
1	水		17	金	
2	木	卒業式予行	18	土	
3	金	第44回卒業証書授与式	19	日	
4	土		20	月	
5	日		21	火	春分の日
6	月		22	水	
7	火	公立高校学力検査	23	木	
8	水	（公立高校学校独自検査）	24	金	後期終業式
9	木		25	土	年度末休業開始
10	金		26	日	
11	土		27	月	離任式
12	日		28	火	
13	月	2年生修学旅行	29	水	
14	火		30	木	
15	水	2年生振替休業日	31	金	
16	木	公立高校合格発表 SC 来校日			

右のQRコードにアクセスいただき、学校や生徒の様子をご覧ください。

